



藤岡の偉人  
関 孝和  
(? -1708)

江戸時代に活躍した和算家(数学者)です。幼少より学問に親しみ甲府藩や幕府の財務職に就きながら、和算の研究に生涯を捧げました。独自の記号を開発し自在に数式を表現し、天元術に改良を加えた点竄術を発明。和算の発展に貢献しました。

- 1674年 関孝和が「発微算法」を著す
- 1702年 吉良上野介が赤穂浪士に討たれる
- 1722年 星野金左衛門の誘致により三井越後屋が藤岡に新店を開設
- 1781年 上州絹一揆、この頃藤岡絹の取引額が関東一となる
- 1783年 浅間山大噴火
- 1854年 天明の大飢饉
- 幸順和尚が中村堰の改修工事を行う

## 近世



伝吉良上野介産湯の井戸<白石>



千部供養塔・正面<緑塗>



絹市の様子(菊川英山筆)



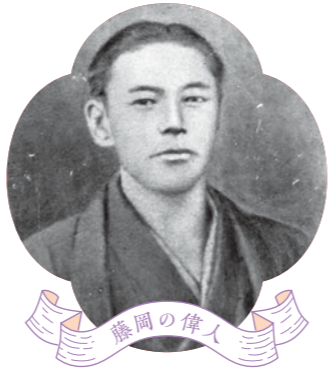
藤岡名勝壽語録



諏訪神社神輿<藤岡>

**Pick up**  
デジタル博物館

藤岡市内の歴史資産の資料をデジタルデータ化し、インターネットで公開しています。養蚕教育機関「高山社へのいざない」、藤岡の偉人3人を取り上げる「ふじおか三大人の足跡」、国史跡の前方後円墳「七興山古墳とハニワたち」などが閲覧できます。堀越二郎が設計したゼロ戦の試作機の実物大模型をさまざまな角度から見学できる3D映像や、古墳の石室内部を見られるAR(拡張現実)画像などもあります。



藤岡の偉人  
高山 長五郎  
(1830-1886)

近代的な養蚕法「清温育」を全国へ普及指導した高山社の創立者です。幼い頃から養蚕の不出来に苦しむ農民の姿を見続けてきた長五郎は養蚕の研究を始め、試行錯誤の中から「清温育」を確立。分け隔てなく「清温育」の技術を教えました。

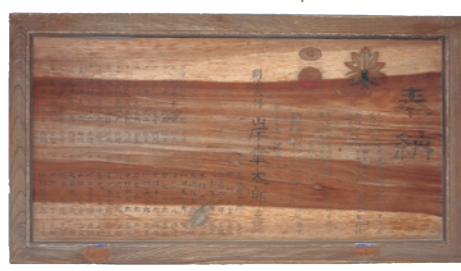


高山社跡

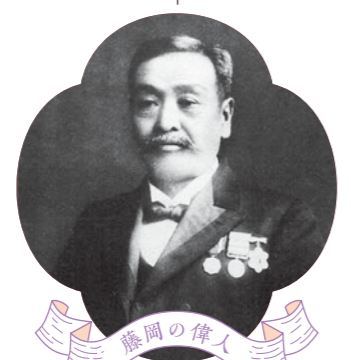


- 1868年 高山長五郎、「清温育」を確立
- 1874年 和算家岸幸太郎が秋葉神社に算額奉納
- 1884年 高山長五郎、養蚕改良高山社を設立
- 1887年 養蚕改良順気社創立
- 1898年 緑野馬車鉄道、新町「藤岡間」開通
- 1901年 町田菊次郎、高山社蚕業学校開校
- 1910年 明治43年の大水害

## 近代



秋葉神社算額<東平井>



藤岡の偉人  
町田 菊次郎  
(1850-1917)

高山長五郎の遺志を継いだ、高山社2代目社長です。明治34年(1901)、明治時代では全国で唯一の甲種農業学校であった「高山社蚕業学校」を開校し、初代校長を務めました。蚕業学校には日本国内外から指導を求めて生徒が集まり、卒業生は19,794人にも及びます。



藤岡の偉人  
堀越 二郎  
(1903-1982)

明治36年(1903)生まれ、藤岡市上落合出身。東京帝国大学(東京大学)工学部卒業後、三菱内燃機株式会社(三菱重工業)に就職。九試単座戦闘機に続き、十二試艦上戦闘機(零戦)などを設計したほか、国産旅客機開発の設計に参画しました。

## 現代

- 2014年

高山社跡が「富岡製糸場と絹産業遺産群」として、世界文化遺産に登録される

## 昭和時代

- 1931年 八高線群馬藤岡駅開業
- 1937年 堀越二郎、十二試艦上戦闘機(零戦)製作

## 大正時代